

# 国語科学習指導案

令和元年 10 月 21 日

## 1 単元名（1 年） 情報を整理してラジオコマーシャルを作ろう

### 2 単元の目標

- 話題について情報を整理し、魅力的に伝えようとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 日常生活に関わる話題について、人との話合いを通して材料を整理することができる。  
(話すこと・聞くこと ア)
- ラジオコマーシャルにふさわしい言葉遣いや語句を、適切に使うことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ)

### 3 評価規準

国語への関心・意欲・ 態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理 解・技能
・新商品の良さがわかるように、工夫して伝えようとしている。	・新商品の価値を、情報を集めて整理している。 (話すこと・聞くこと ア)	・コマーシャルにふさわしい言葉遣いや語句を使っている。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ)

### 4 単元について

#### (1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、新商品について情報を整理して魅力的に伝えるという活動を行う。この活動は、学習指導要領[第 1 学年]「A 話すこと・聞くこと」における、指導事項「ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること」にあたるものである。そこで今回は、掃除機の商品仕様書を生徒たちに配布し、ターゲットを若年層・ファミリー層・シニア層のどれかに絞った上で、ラジオコマーシャルの作成を行う。

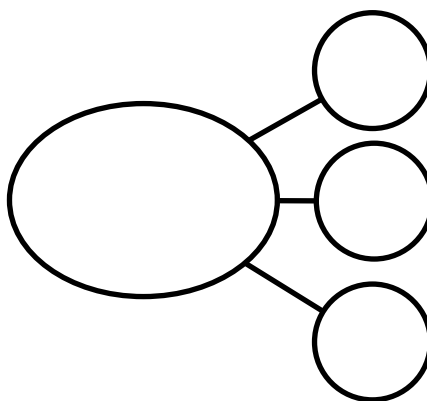
現代社会においては、グローバル化やインターネットの普及によって膨大な量の情報が溢れている。それによって、これまでのようにただ知識を暗記するといったようなことは必要とされず、またバラバラに身に付けた知識は失われやすい。一方で、関連付けて整理された知識・情報は、取り出しやすく長く活用することができる。

る。そこで今回は、知識・情報の整理を具体化・視覚化させるために「思考ツール」を用いて、思考力に差がある場合でも枠組みを提供することで活動を明確化し、活発な言語活動に繋げていこうと考える。

これまでの私の授業実践を振り返ると、このような思考のパターンはあまり重視されていなかったように思う。一斉授業での話し合いでは、賛成意見と反対意見を黒板に書き分けて、それぞれを比べながら「学級の考え」を導き出すことはやってきたが、一人一人の頭の中にある思考を表出させることの重要性に気付いてなかったのである。よって、これから思考ツールを意識的に活用していくことで、知識と知識を結びつけて考えることについての訓練をしていくことになる。その結果、自分自身の考えを他の人に対して表明できるようになると考える。

今回の授業では、思考ツールの中でも「放射リスト」と言われるものを使う。放射リストを使うメリットとしては全部で三点挙げられる。

## 【放射リスト】



①キーワードで書くため、時間がかからない。

メモやノートをとるときに、文章で記録すると時間と手間がかかり、さらに、ノートを書いても多くは記憶に結びついていないことが多い。重要ではない言葉まで読む必要があるので、時間ももったいないという側面もある。放射リストではキーワードで情報を整理していき、関連性を示しながらまとめていく作業によって情報の整理や時間の短縮につながる。

②放射状に広がるマップが視覚的にわかりやすい。

通常、上から順に文章を追っていかなければ必要な情報までたどりつかないが、放射リストは放射状に広がった地図のようなものであるため、視覚的にパッととらえることができる。全体像をとらえやすくなり、あとから必要な情報をいち早く参照できるようになる。

③連想によって思考やアイデアが広がる。

放射リストでは単語ベースで放射状の図によって思考を整理していくが、これを作る過程において「連想」が生じる。単語ベースで頭の中にあることを書き出していくと、それに付随してアイデアやひらめきを得ることができる。関連のある事柄

について発想が広がっていくことがメリットと言える。ただし、今回は連想よりも情報の整理に主眼を置いて活動する。このような働きがあることから、放射リストを活用する。

扱う言語活動は、新商品を魅力的に伝えるために、思考ツールを用いて情報を整理し、ラジオコマーシャルを作ることである。限られた時間設定の中で、相手にわかりやすく伝えるには、情報の整理と話す力が必要である。そこで、今回は情報の整理に焦点を絞って活動を行い、自分の意見を話す場の設定や個人の活動からグループの活動へと繋げていくことにより、わかりやすく伝えるために必要な相手意識をもたせることで、知識・情報を整理する力を高めることができるのではないかと考え、この単元を設定した。

## (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、知識・情報を整理し、わかりやすく説明する学習である。たくさんの情報を扱う場合に思考ツールを使うことで、知識・情報を整理する力を育てたい。思考ツールを使うことによって情報収集する際にも分類・整理しやすくなり、目的や相手に応じて何を語るべきかが明確になってくると考える。文章を書くことだけでなく、物事を考えたり表現したりするときに、情報を整理することは非常に大切なことであろう。ランダムにある情報に、何らかの関連性や共通点、または相違点を見つけ、分類する。思考ツールを使うことで、情報を取捨選択し、整理をわかりやすく行う方法の基礎を学ばせたい。

## (3) (1)と(2)の基盤となる言語環境や継続的な取組

基盤となる言語環境や継続的な取組として、前期では詩の朗読を題材として人前で話すときの言語技術を確認し、発表を行った。また、詩の作成に取り組んだ時には、思考ツールである「マッピング」を用いて観点ごとに情報を書き込み、作品の構成に役立てることができた。そこで、人に何かを伝える場合、目的や相手を明らかにし観点を立てて情報を集めることや、集めた情報を整理し工夫して表現することを学んだ。さらに、「私の宝物について」というテーマでスピーチを行い、わかりやすい原稿の構成やユーモアを盛り込むなど、相手意識を持って活動することができた。また、人前で話す機会については、学活でも定期的に行っていることもあり、「話すこと」については機会を多く設けている。

これらの学習を土台とし、今回は、思考ツールで情報を整理させ、そこで出た特長を原稿に反映させながらラジオコマーシャルに生かすという活動を行いたい。効果的に思考ツールを使うことによって、思考力の働かせ方を習得するとともに、膨大な量の知識・情報を適切に整理・分析する力が付くと考える。

## 6 単元指導計画（5時間扱い）

時	学習内容と活動	指導や支援の手立て【◇は評価】
1	<p>○学習の見通しを持ち、単元の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>情報を整理してラジオコマーシャルを作ろう。</p> </div> <p>○学習を通して付けたい力を確認する。 『知識・情報を整理する力』 ⇒情報を整理してラジオコマーシャルを作る。</p> <p>○炊飯器の商品仕様書(例：価値、良さ、特徴など)を配付し、例を見ながら情報整理の準備をする。</p> <p>○個人に練習用の商品仕様書とターゲットをもとにし、情報を取捨選択し整理する練習をする。</p> <p>○本時の内容を振り返り、次時の内容を確認する。</p>	<p>・教科書「わかりやすく説明しよう」(P 36～)を確認し、ラジオコマーシャルを作るための準備をさせる。</p> <p>・教師が新商品コマーシャルの依頼人になり、生徒に新商品の商品仕様書を見せながら、思考ツールを用いて活動することを説明する。</p> <p>・放射リストの使い方を確認する。</p> <p>◇新商品について、意欲的に情報収集している。【国語への関心・意欲・態度】</p>
2 本 時	<p>○前時の振り返りをし、本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>思考ツールを使って情報を整理しよう。</p> </div> <p>○求める掃除機のポイントについて考える。</p> <p>○ターゲットを決定し、どんな掃除機を求めているか、個人で考える。</p> <p>○掃除機の商品仕様書を見ながら、ターゲットに沿って情報を取捨選択し、整理する。</p>	<p>・身近な掃除機から、あると便利な機能や特長を考えさせる。</p> <p>・ターゲットの立場になって、求める機能や特長を考えさせる。</p> <p>・掃除機の情報を整理させ、担当するターゲットにラジオコマーシャルを説明するにはどの情報が必要か考えさせる。</p>

	<p>○個人で作成した放射リストを班で見せながら紹介し合い、良い点は取り入れる。</p> <p>○本時の内容を振り返り、次時の内容を確認する。</p>	<p>・同じ掃除機・ターゲットであっても、整理される情報が違うことを確認させる。</p> <p>◇掃除機について必要な情報を集め、班で話し合いながら整理している。 【話すこと・聞くこと】</p>
3 ・ 4	<p>○前時の振り返りをし、本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ラジオコマーシャルの台本を完成させよう。</div> <p>○整理した情報から、ターゲットへの伝え方を工夫し、その意図を考えて書く。</p> <p>○ラジオコマーシャルの構成を考える。</p> <p>○ラジオコマーシャルの台本を作る。</p> <p>○本時の内容を振り返り、次時の内容を確認する。</p>	<p>・商品仕様書の内容を参考に、自分の言葉を入れた表現を考えさせる。</p> <p>・教科書「わかりやすく説明しよう」(P36)やワークシートを参照し構成の考え方、原稿のまとめ方を確認させる。</p> <p>◇ラジオコマーシャルの全体構成について理解し、伝えることを整理して台本を書く。【話すこと・聞くこと】</p>
5	<p>○前時の振り返りをし、本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">商品の良さをラジオコマーシャルで伝えよう。</div> <p>○3～4人の班になって、個人でラジオコマーシャルの発表会を行う。</p> <p>○本時の内容を振り返り、本単元の振り返りをワークシートに記入する。</p>	<p>・商品について、音声だけでわかりやすく魅力的に発表させる。</p> <p>・ラジオコマーシャルに対する感想や意見をワークシートに書かせ、自分のコマーシャルを見直させる。</p> <p>◇商品についてラジオコマーシャルで魅力的にわかりやすく伝えている。 【話すこと・聞くこと】</p>

## 7 本時の目標と展開

### (1) 本時の目標

- ・自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりすることで、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- ・班で話し合いながら、ラジオコマーシャルの台本作りに必要な情報を整理することができる。  
(話すこと・聞くこと ア)

### (2) 本時の展開 (5時間扱いの2時間目)

時配	学習内容と活動	指導や支援の手立て (◇は評価)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の学習を振り返り、本時の目標を確認する。</li> <li>○掃除機に求めるものについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回の学習内容を想起できるように支援するとともに、本時の目標を把握し、学習活動に入れるようにする。</li> </ul>
<b>思考ツールを用いて情報を整理しよう</b>		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ターゲットを設定し、どんな掃除機を求めているかどうかを簡条書きで書き出す。</li> <li>○個人で商品仕様書を見ながら、放射リストに情報の整理を行う。</li> <li>○班で同じ商品仕様書、ターゲット同士で4～5人の班になり、個人で作った放射リストを見せ合いながら紹介する。</li> </ul> <p><b>話し合いの内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①順番に、個人で作成した放射リストについて説明する。</li> <li>②参考になった友達の意見を書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層、ファミリー層、シニア層の中からターゲットを設定し、求めている機能や特長を考えさせる。</li> <li>・商品仕様書から、ターゲットに沿った情報を取捨選択し整理することを伝える。</li> <li>・それぞれの放射リストを持ち寄り、個人でどこまで情報を整理できたか確認し、共通していた点や新たな気づきなどを書き込ませる。</li> </ul> <p>◇話し合いを意欲的に行い、自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりすることで、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】</p>

	<p>③積極的に質問する。</p> <p>○全ての班の話し合いが終了したら、個人の活動として放射リストを完成させる。</p> <p>○話し合いを通して自分の考えが深まったか、深まらなかったか、その理由を考え書く。</p>	<p>◇班で話し合いをもとに、放射リストから必要な情報を整理することができる。 【話すこと・聞くこと】</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○本時の内容を振り返り、次時の内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いについて2～3人の生徒に感想を聞き、事後の学習に役立てる。</li> <li>・たくさんの知識・情報がある中でも、思考ツールを使うことで取捨選択し整理できることを伝える。</li> </ul>